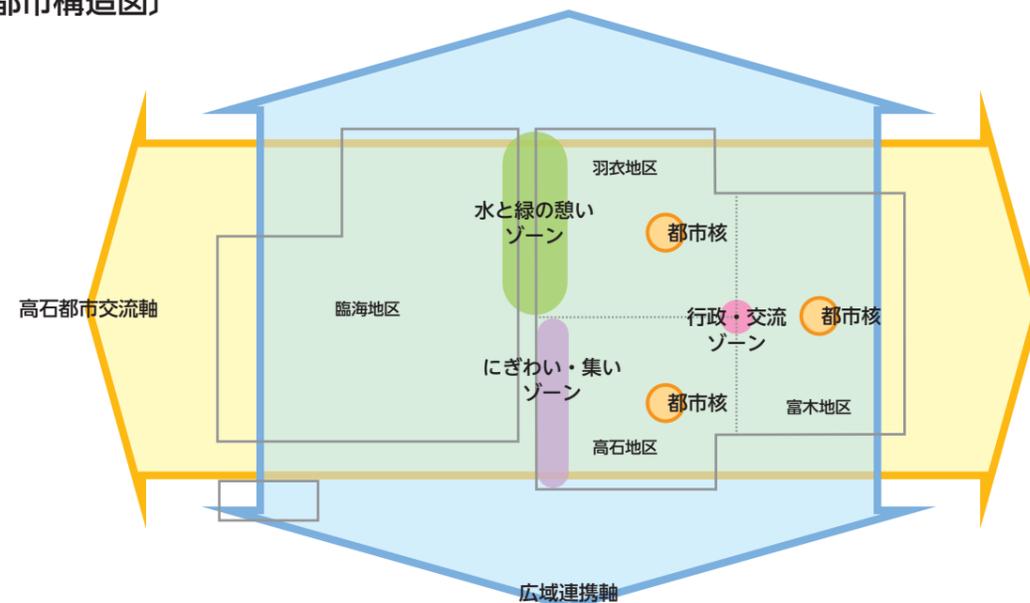


第2節 都市構造

臨海部・内陸部に分かれた土地利用などをまちづくりに活かし、コンパクトな市域と特性の異なる「高石駅」、「羽衣駅」、「富木駅」を中心とした3つの地域の中で歩いて行くことのできる範囲での生活圏を形成するため、周辺都市との連携による「都市軸」、各種都市機能が集積し本市の玄関口となる「都市核」、個性的な土地利用を活かした拠点となる「ゾーン」からなる都市構造を設定します。

〔都市構造図〕



①都市軸

本市の産業の中核をなす臨海部と生活の場となる内陸部を結び、人・物・情報のネットワークとなる「高石都市交流軸」と、周辺市とを結ぶ都市活動の主要な流れを創りだし交流・連携をめざすネットワークとなる「広域連携軸」を形成します。

②都市核

「高石駅」、「羽衣駅」、「富木駅」の特性を活かした性格づけを行い、商業・サービス機能をはじめとした都市機能の集積を進めて、各地区の拠点となるとともに、南・北・東の玄関口として隣接地域との連携を進めます。

なお、都市核以外の市域についても、にぎわいや憩いの場づくりに取り組みます。

③ゾーン

行政サービスと市民の交流の拠点となる「行政・交流ゾーン」、地域の活性化を行い、にぎわいを創出する「にぎわい・集いゾーン」、浜寺公園等の水辺空間を中心に水と緑に触れることができる「水と緑の憩いゾーン」の3つのゾーンを形成します。

第5次高石市総合計画 基本計画

基本計画の構成と内容

基本計画

- 第1章 明日の担い手を育む
- 第2章 みんなで支え合い、健やかに過ごせる
- 第3章 安全・安心で快適に暮らせる
- 第4章 人を惹きつける魅力と活力があふれる
- 第5章 持続可能なよりよい未来へつなぐ



基本計画の構成と内容

1. 基本計画の目的

基本計画は、基本構想で設定いたしましたまちづくりの5つの目標に基づき、総合的、体系的に示した基本的な17の施策に取り組みをまとめたものです。これらの施策は、実施計画の基礎となり、市民の皆様とまちづくりに取り組んで行くための指針となるものです。

2. 施策の体系



3. 計画の視点

計画の実現性を確保するため、基本構想で設定した次の3つの視点を、基本計画・実施計画を実施する際の方針とします。

- ▶ 視点1 多様な主体の参画
- ▶ 視点2 選択と集中
- ▶ 視点3 デジタル技術の活用